



Tokyo Gakugei University Repository

東京学芸大学リポジトリ

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

Title	「情報」探索：視点を定めて考える（総合学習「テーマ研究」）(fulltext)
Author(s)	渡邊,裕
Citation	研究紀要：東京学芸大学附属世田谷中学校研究年報, 2015: 202-203
Issue Date	2016-03-31
URL	http://hdl.handle.net/2309/147662
Publisher	東京学芸大学附属世田谷中学校
Rights	

3. 2 「情報」探索～視点を定めて考える～

1. 対象学年 2・3年生

2. 担当教員 渡邊裕 (国語科)

3. テーマのねらい

世の中にはたくさんの「情報」がある。その中で、多くの人は「であったことのある情報」を選択・統合し、いろいろなものを考えたり判断したりしているのではないだろうか。そこでこのテーマでは、それぞれが「当たり前」とらえていることについて、「情報」を収集し比較しながら、改めてどのようなものか考えていくことをねらいとした。

研究の対象は各々の興味を抱く分野や事柄とし、「●●●」とはどういうことなのか、その定義を自分なりに見つめ直すところから始め、それぞれが設定した事柄について、視点を定め考察し、自分なりのモデルの構築や対象の再定義づけを行うことを目指していく。

その過程では、図書資料や新聞・雑誌などの媒体、情報機器をどのように活用し、「であったことのある『情報』」を蓄積していくのかについても考えていきたい。さらにそこから得たものをまとめていく方法(フレームワークなど)についても活用する方法に目を向け、選択・活用する力へとつなげていくことに結びつけていきたい。

4. 学習活動の計画と概要

回数	主な学習予定
1	オリエンテーション
2	課題発見・論点発想 ※ 構想発表
3	課題設定 ※ 基礎文献の設定
4	情報探索①
5	情報探索②・ブックレポート
予備日	調査・探索予定 (図書資料とネット情報の比較)
6	課題考察力・論(文)構成力
7	まとめ・文章化①
8	まとめ・②
9	報告会・発表会準備 (ポスター作り)
	発表会準備
	テーマ研究発表会
	テーマ研究まとめ・自己評価

今年度は講座のオリエンテーション、研究発表準備、研究発表と夏休みの予備日を含めた10回で講座を計画し、実施することができた。

研究の進め方としては、各自が対象となるテーマを設定した上で、その分析を進めていく中で、実際に「情報」にどのように触れていくのか、留意点を含め提示し、それぞれが体験しながら、考えを深めることにつなげていくこととした。また、前半では特に「副題」の役割の重要性を示していた。自己の意見の焦点化を促そうとしたものである。

それに加え、昨年度の取り組みから基礎文献の重要性が把握されたこと、さらに全体の方向性をイメージすることで、その後の調査が円滑に進むことが想定された。そこで今年度は、第2回の段階で自らのテーマとなる事柄と、どのような点に話題を絞ってまとめていくのかを発表し、互いにコメントや質問などを書き出していった。またこの報告の様子は動画で撮影し、調査を進めていく中で迷ったときなどに、振り返ったり計画との差異を検討し、方向性を修正したりするための素材とした。その際、タブレット端末を用いることにより、データの共有が円滑になり、振り返りに対するハードルを下げることができた。

これらの取り組みを踏まえ、前半は各々の基礎文献を定め、それを読み込み、自身の考えとの類似点・相違点を考えることに時間を割いた。その上で、自らの考えを補強する調査や情報収集へと進めていった。

夏休みについては、中央大学の梅沢貴典氏の講演をもとに、「じぶんの頭で考える」ということを軸に、「データベース検索」の方法について学習した。そのときに提示した、「情報」の扱い方や留意点をもとに、これまでそれぞれが行ってきた情報収集の方法について振り返り、例えば検索エンジンや蔵書検索にキーワードを入れるだけで、参考資料の有無を確認するような状況を見直すことを促した。これ以外にも、「情報に出会う」ための行動として、補うべき点に目を向けるきっかけとなったと考える。

また、実際に学芸大学の図書館ホームページや中学校で活用できるものなど、各種データベースに

アクセスし、各々のテーマに関連する文献などを検索することで、「タイトル」や「著者」などから、関連する情報に接続することを経験することにつながった。また、それらのデータベースを活用することで、より専門性の高い「情報」にも出会うことになった。

後半は発表会に向け、それぞれの調査を整理し、まとめていく活動であった。今回は、調査そのものの充実を図ることや、「『情報』と向き合う姿勢」について考えること（調査過程そのもの）を目的としたため、まとめについては、全員がタブレット端末のアプリ（ロイロノート School）を用いたスライドの形式をとることとした。その際、スライド全体の基本構成やつながりについて、ホワイトボードで説明したのち、アプリの機能を用いて基本事項のカードの連なりを作り、共有した。それをもとに、各々が自らの考えを整理していき、それぞれの時間の最後に提出した。

これらの「下書き」の段階で容易に提出ができる点、添削・アドバイスを個々に行うことができる点、さらに変更前後のデータを保有したり復元したり出来る点など、デジタル情報の特性を活かした取り組みも今回のテーマの目的の一つであり、生徒の様子を見ていても機能の提示や紹介をもとに、自分なりに応用し、いくつかの機能を結びつけ使用していく様子が見られた。特にタブレット端末を用いたまとめでは、写真や動画など同一機器内に含まれる機能を、自身の考えをまとめていく際に活用することで、思考の深まりや広がり、また他者を意識したまとめにもつながる様子が見られたことから、ツールの機能を活用することで、基本情報の共有や振り返りが容易になり、活動の充実につながることもできるものであると考え。最後に提出されたスライドについても、展開や資料の提示に工夫がなされ、また参考文献の扱いにも適切に意識が向けられていた。

発表会ではそれらを動画ファイルとして書き出し、展示発表を行った。また、自分の考えを焦点化するために、ポスターを作成し同時に展示した。それぞれが取り上げたテーマについては次のようなものである。

【テーマ】

- ① 罪とは何か ～良い罪は無いのか？～
- ② 嘘とは何か ～偽りと嘘の違い～
- ③ 心とはなにか ～感情やそれによる身体の変化について～
- ④ 生命とは何か ～人の生命のあり方とは～
- ⑤ 日本語とはなにか ～日本語の成り立ち～
- ⑥ 依存とは何か ～依存と自立と孤立～
- ⑦ 可愛いとは何か？
- ⑧ 言語とは何か ～心を豊かにする働きがあるのか～
- ⑨ ゲームとは何か ～ゲームが私たちに及ぼす影響について～
- ⑩ 寂しいとは何か ～言いにくいのは何故か～
- ⑪ TRICKS OF THE MIND

5. 今後の課題

「情報」との向き合い方やその扱い方について、体験を通して考えることでそれらに対する意識の向上につながる事ができたと考え。特にデータベースの活用を通じた専門性の高い情報を探すことを通して、それぞれが視点を定めることの重要性、関連する事柄や対象の広がりについて目を向け、自身の考えを補強するという点からの、資料の扱い方について定着が図られていた。また各々が設定した課題解決に向け、熱心に取り組んでいく様子が見られ、基礎文献という軸を定めることの効果も体験することにつながった。それらの調査を踏まえ、「伝達」ということに主体的に向き合い、情報の提示の仕方についても目を向けることができたのではないかと。一方でテーマ全体の共通する学びが全体に見えにくいこともあり、ツールの活用も含め、汎用性や一般化の観点から今回得られたような成果に結びつく段階を具体的に提示していくこと、その効果の検証が今後の課題となる。